

後期基本計画 令和 4年度 基本施策方針評価書

政 策 : 05 学びにより充実した人生を送ることができるまち

基本施策 : 01 生き生きと学習できる教育基盤の充実

主管課長職・氏名	教育総務課長 滝田 俊一
関係課長職・氏名	学校教育指導課長 渡邊 康二

1. 基本施策の令和 4年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが生き生きと学習できる、居心地の良い、安全・安心な教育基盤の充実に努めます。 ・少子化、児童生徒の偏在化を踏まえ、中長期的な展望のもとに学校の適正規模の在り方についての検討に着手します。 ・就学機会を確保すべく経済的に困窮している世帯への支援を引き続き行うとともに、急速な情報化社会の進展に即応するために学校ICT化に向けた環境整備を進めます。 ・既存施設の修繕、長寿命化を図るなど維持管理に努め、教育基盤のより一層の充実を目指します。
--	---

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 学校トイレの環境改善率 単位 %	76.6	80	83	87	90.9	90.9	A
			76.6	92.3	92.3	96	96	135.7
2	幸福 子どもが夢中になって取り組めることがあると感じる人の割合 単位 %以上	75.1	75.1	75.1	75.1	75.1	75.1	D
			75.3	80.4	75.6	77.1	77.1	0.0
	単位							

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 05010100 居心地の良い教育環境の充実 子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合 単位 %以上	58.4	58.4	58.4	58.4	58.4	58.4	D
			59.6	61.2	67.3	65.4	65.4	0.0
2	暮らし 05010200 安全安心な教育施設の整備 学校トイレの環境改善率 単位 %	76.6	76.6	83	87	90.9	90.9	A
			78.9	92.3	92.3	96	96	135.7
	単位							
	単位							
	単位							

後期基本計画 令和 4年度 基本施策方針評価書

政 策：05 学びにより充実した人生を送ることができるまち

基本施策：01 生き生きと学習できる教育基盤の充実

主管課長職・氏名	教育総務課長 滝田 俊一
関係課長職・氏名	学校教育指導課長 渡邊 康二

2. 基本施策の実現に向けての令和 4年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> 市内における少子化、児童生徒の偏在化を踏まえ、中長期的な展望のもと学校の適正規模の在り方について、「滝沢市の学校教育の在り方検討委員会」を設置し、本市特有の教育環境を踏まえ検討を進めました。 就学機会の機会均等のため、経済的に困窮している世帯に対し、継続して支援しました。 学校 I C T化に向けて、教育用及び校務用 P Cや教育用タブレットを配備するとともに、校内 L A Nネットワークの整備を進めました。 学校の施設、設備の老朽化に対応するため、施設改修を進めました。 安全安心な教育施設の整備のため、感染症拡大防止対策を進めました。 	

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、令和 4年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校教育の在り方についての総合的な検討 学校の施設・設備の老朽化等に対応した安全安心な教育施設の整備、学校 I C T教育の円滑な運用に向けた環境整備 <p>【重点課題に対応した達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「滝沢市の学校教育の在り方検討委員会」を設置し、本市特有の教育環境を踏まえ総合的に検討しました。 小学校遊具更新、滝沢第二中学校放送設備改修、小中学校校舎等便所改修等により教育環境の改善が図られました。 	

3. 基本施策の実現に向けての令和 4年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<ul style="list-style-type: none"> 少子化が進む中、市内小中学校の児童生徒の偏在化が認められます。 学校の施設、整備の老朽化への対応（長寿命化）、資材価格、燃料費の高騰が全国的な課題となっています。 生活様式の変化により情報化社会が加速するなど、学校教育を取り巻く環境が変化しています。 	

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>政策達成のため、引き続き同様の基本施策の実施が必須であるため、見直しの必要はありません。</p>	

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 6年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <p>引き続き基本施策の実現に向け、教育基盤の充実に関する取組を進めます。</p> <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 少子化、児童生徒の偏在化を踏まえた本市の学校教育の在り方の総合的な検討 学校の施設、設備の老朽化への対応 学校の I C T環境の充実 	

